

令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金を活用した事業の実施状況

資料 2

交付金 名称	事業名	事業期間	事業概要	取組内容	総事業費(円)	交付金額 (円)	事業の進捗状況(交付金事業完了後の 取組状況を含む) (令和6年3月末現在)		本事業の重要業績評価指標(KPI)					令和6年度以降 の方針
							内容	内部評価	指標		【令和5年度増分】 上段:目標値 下段:実績値	累計(令和5年度まで) 上段:目標値 下段:実績値	事業効果	
デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	自動運転サービスの活用による高田松原津波復興祈念公園等における伝承活動促進事業	令和4年度～令和5年度	自動運転サービスの実装により、市民や市内外の事業者や団体等の伝承活動参加への障壁を緩和することで、より効果的・効率的な伝承活動を促進し交流人口の拡大を図る。	・未来技術社会実装事業計画策定及び支援等 ・高田松原津波復興祈念公園内における自動運転走行実証実験	56,958,000	28,479,000	陸前高田市未来技術地域実装協議会を開催するとともに、9月に自動運転の実証実験を行ったが、技術的な課題や実装後のランニングコスト等を精査した結果、現時点での実装は難しいと判断し、令和6年度の交付金の活用及び令和7年度の実装は見合わせることにした。	B. 概ね計画どおり進んでいる	①	自動運転車両利用者数	2,500人	3,500人	③地方創生に効果があった	引き続き自動運転技術や財源確保に向けた情報収集、意見交換を行い、実現可能性を踏まえながら令和7年度以降の事業実施について検討する。
											878人	2,344人		
									②	観光客入込数	1,000,000人	2,000,000人 (単年度1,000,000人)		
											1,355,989人	2,549,185人		
									③	自動運転サービスの実装による誘致企業及び新規企業・創業数	2事業者	3事業者		
											1事業者	3事業者		
									④	転入者	500人	950人 (R4 450人、R5 500人)		
											397人	813人		
デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)	コンビニ交付サービス	令和5年度～令和7年度	全国のコンビニエンスストアやドラッグストアですいつでもどこでも各種証明書(住/印/戸/附)が取得でき、住民の利便性向上だけでなく、マイナンバーカードの更なる普及促進、窓口業務の職員負担軽減、非来庁による新型コロナウイルス感染症への対策にも寄与することが可能。	・システム構築ベンダによる導入及び運用仕様の検討 ・システム構築ベンダによるシステム構築 ・市ホームページや広報誌による情報発信	22,342,508	11,171,254	・当初の予定通り令和6年3月1日からコンビニ交付サービスを開始した。	B. 概ね計画どおり進んでいる	①	コンビニ交付サービスの利用率	5%	5%	③地方創生に効果があった	利用者アンケートの結果を精査し、コンビニ交付サービスの利用拡大に努める。また、コンビニ交付サービスにおけるキオスク端末の操作方法等、デジタル弱者の方でもわかりやすいような操作手順の案内を市のホームページや広報誌等に掲載する。
											10%	10%		
									②	コンビニ交付サービス利用者の満足度	75%	75%		
											86% ※R6.10.15～12.20に行った利用状況調査の結果による	86%		
									③	郵送請求証明書発行件数	700件	700件		
											1,485件	1,485件		
									④	マイナンバーカード交付率	90%	90%		
											80%	80%		

【事業効果 凡例】
①地方創生に非常に効果的であった
②地方創生に相当程度効果があった
③地方創生に効果があった
④地方創生に対して効果がなかった